

# 多言語商品情報提供サービス活用のご案内

## 【背景】

訪日外国人客は、2019年には3,188万人に達し、「明日の日本を支える観光ビジョン」において、2020年に4,000万人、2030年に6,000万人の目標が設定されています。

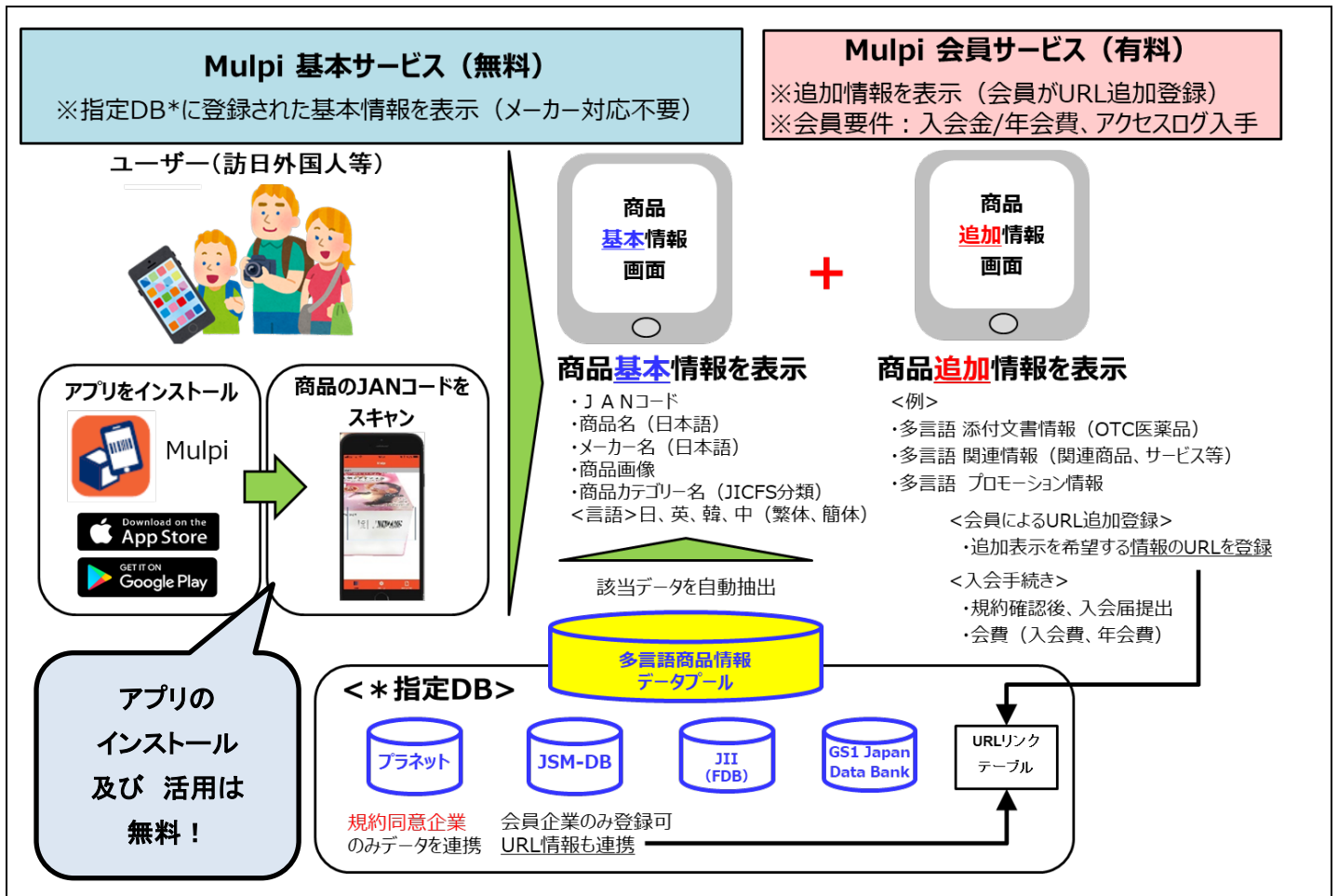
訪日外国人客の旅行消費額に占める買い物代の割合は、約34.6%を占め、訪日外国人観光客の増加に伴って、買物消費額も大幅な増加が見込まれます。ところが、訪日外国人客が日本でショッピングをする際には、言語の問題（説明・価格表示）で不満や心配を感じるケースが多くなっています。

## 【目的】

こうした状況に対し、訪日外国人客向けの商品情報提供による販売促進、メーカー発信の正確な商品情報の収集／提供サイクルの確立をめざします。東京オリンピック／パラリンピックに訪日する外国人の買い物支援に向けたオールジャパンによる多言語化の取組みの一環としていきます。

当プロジェクトの多言語商品情報アプリ（Mulpi）は、東京オリンピック／パラリンピック大会に向け東京都と内閣府が共同で取り組んでいる多言語対応協議会の小売プロジェクトチームにおいても、商品情報領域のツールとして紹介されております。

## 【概要】 訪日外国人向けの多言語での商品情報提供。



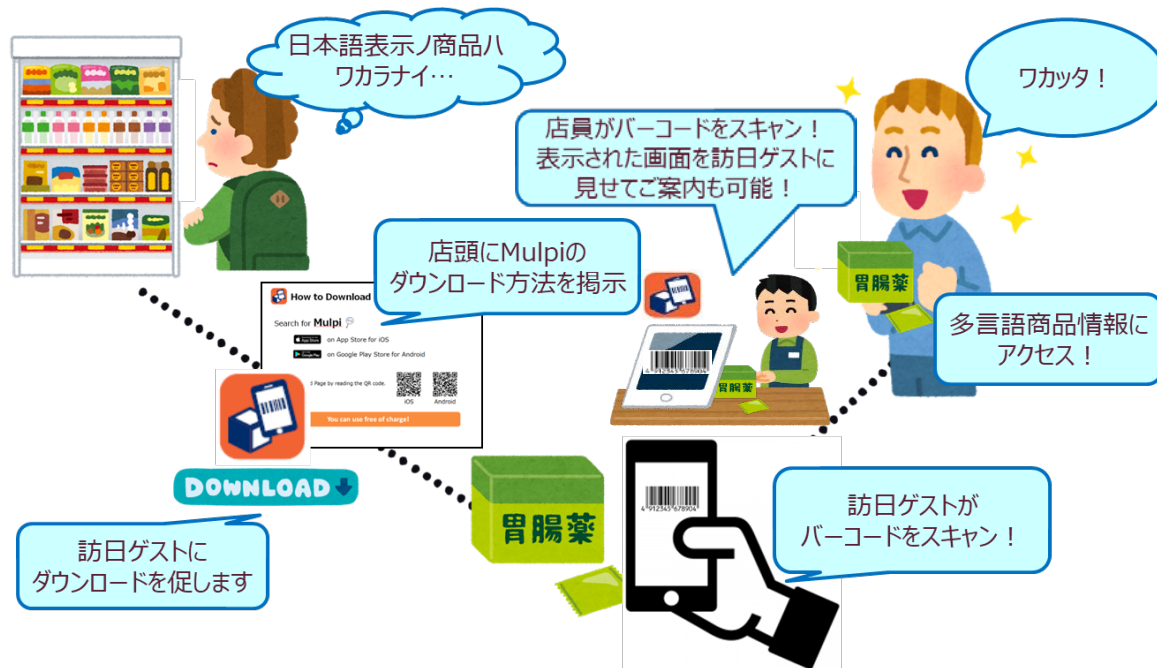
商品基本情報／商品追加情報共に、メーカー発信の正しい情報が提供されることが、最大の強み。  
（PLリスク回避、本物志向の中国人に対する安心感の提供）

## 【小売業の期待効果】

- 一本取り組みによる共通インフラを利用することにより、極めて低コストで外国人観光客への買物支援が可能となります。
  - 外国人観光客の購買を店頭で促進し易くなります。
  - アクセスログによる販売活動への活用ができます。
  - 自社独自の仕組みによる店頭商品の多言語化対応や管理が不要となります。
- (注) 小売業で、訪日外国人に、本サービスをご紹介される場合は、お店の取扱商品と当サービスで提供している商品カテゴリーの比較検討をお願いします。

## 【店頭での活用例】

訪日ゲストがもつスマートフォンにアプリをダウンロードしてもらい、バーコードをスキャンしてもらうことで、多言語商品情報のご案内ができます。店頭のタブレットで案内も可です。



## 【アプリのダウンロード方法】



iOS 版は App Store で、Mulpi と検索！ Android 版は Google Play ストアで、Mulpi と検索！

## 【問い合わせ先】

製・配・販連携協議会 多言語商品情報プロジェクト事務局

e-mail : [scic@gs1jp.org](mailto:scic@gs1jp.org) FAX : 03-5414-8513

ホームページ : <http://www.dsri.jp/forum/pro.html>

注) 多言語商品情報プロジェクトは、製・配・販連携協議会(経済産業省支援)のもと、GS1 Japan/(一財)流通システム開発センターと(公財)流通経済研究所が事務局となって運営しております。